

外国史 I

科目ナンバリング HSG-101
【Ⅲ】 選択 2単位

野本 敬

1. 授業の概要(ねらい)

この講義ではアジア地域の歴史と文化について学びます。今期は19世紀以前の中国を中心とした東アジア諸地域の多様な「伝統社会・文化」の成立過程について学び、現代世界の諸問題を過去の歴史的経緯とともに理解する視点の獲得を目指します。

2. 授業の到達目標

アジア諸地域における地理・自然・民族・宗教など基礎知識を修得した上で、「前近代史」を各地域の生態環境との関わりを主として学ぶことにより、アジア各地域の「個性」と文化について理解し、現代的諸問題との関わりについて説明できるようにすることをめざします。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(50%)及び平常点(50%)より評価します。平常点はLMSの課題履行状況と不定期のミニレポートなどから判断します。LMSの課題解説や試験解説については、LMS上で概説書の該当箇所や解答例を提示することにより行います。

4. 教科書・参考文献

参考文献

特定の教科書は使用しません。講義は資料を配付しますが、授業理解の補助として中国史の概説書を準備することを推奨します。詳細についてはその他の参考文献含め授業内で紹介していきます。

5. 準備学修の内容

講義は基本的な事実関係を確認している前提で行い、枠組みや流れ、因果関係などの概念的説明が多くなります。基本的事項は概説書の該当箇所を事前に読んで予習しておいてください(30分～1時間程度)。授業後は解説した内容と概説書の該当箇所の記載を再度確認したうえでまとめ、紹介された参考文献に目を通すなどによりさらに理解を深めるなど、授業時間外で学習を進めることは必須です。授業の進行と並行してLMSを利用したクイズを設定し成績評価に加えますので、復習にも一定の時間が必要になります(1時間前後)。

具体的な方法については授業初回に指示します。

6. その他履修上の注意事項

この講義は資料配付に加え時にパワーポイント等を利用して行います。授業時間外に授業内で紹介した参考文献に図書館で実際に目を通すなど、自発的な学習が必須です。

教室内では、脱帽、スマートフォンなど電子機器は使用を控え、私語を慎むなど講義の妨げにならないよう静粛にしてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:「多面的」中国とその範囲
- 【第2回】 環境と文明:農牧交界地帯としての東アジア
- 【第3回】 現代的視点からの「伝統」
- 【第4回】 「中原」の形成
- 【第5回】 「中国」の展開
- 【第6回】 統一の時代①:秦漢帝国
- 【第7回】 分裂の時代①:魏晉南北朝
- 【第8回】 統一の時代②:隋唐帝国
- 【第9回】 分裂の時代②:ユーラシア国家と宋朝
- 【第10回】 統一の時代③:モンゴル帝国による「混一」
- 【第11回】 現代中国の原点:明朝の成立
- 【第12回】 近世「帝国」の成立:清朝の成立
- 【第13回】 「歴史上の中国」観とその実態
- 【第14回】 中国史上の「北」と「南」
- 【第15回】 まとめ(予定)